

橘町の見どころ

まちの歴史シリーズ ③⑥

橘町HP <https://tachibana-net.jp> [歴史・史跡](#) クリック

発行：橘町まちづくり推進協議会
ふるさと部会
発行日：令和7年6月1日
責任者：吉野 勝美
原稿作：宮下 正博
事務局：橘公民館 22-3884

今月号の案内者は

鳴瀬区長 古賀 雅章さん

私たちの郷土を治めていた橘氏。

今回のエピソードは、

曾我兄弟仇討ちと

兄、公忠の最後

タッパ君とミサエちゃん、よろしく。



★ エピソード⑤ 範頼疑われ、公忠敗死

では、お兄さんよろしくね



曾我兄弟の仇討ち騒動が終わって、やれやれと思っていた所、私がつかえている範頼様（頼朝殿の弟）は、頼朝殿に謀反を疑われました。今でも、なぜ疑われたのか分からないのです。

そこで、範頼さまは「全く謀反する心がない」ことを手紙にして殿に送られました。

注1 NHK大河ドラマでは、『蘇我兄弟の仇討ち騒動の時、頼朝が討たれたとの誤報が入ると、範頼が、嘆く妻の政子に対して「後にはそれがしが控えております」と述べたので、頼朝に謀反の疑いをかけられたとされる説』に沿って描いていました。

この説は、150年ほど後の『保暦間記』という物にしか書かれておらず、その信憑性を疑う説もあります。

注2 範頼は起請文に、これまで朝廷の敵（平家など）を退散させるために一心に尽くした事、頼朝の子孫の代になっても尽くすことなどを訴えたと吾妻鑑は紹介しています。

しかし、頼朝殿は起請文に「源 範頼」と書かれているのを見て「源の姓を名乗るとはケシカラン」とお怒りになられたのです。

その時、殿はこんな感じかな？

「ふん、けしからん。遊女の子のくせに、由緒ある源の姓を名乗るとは、と〜んでもない。



確かに殿（範頼）の母上は、頼朝さまのお母上とは違いますが、お父様は義朝様なのでから……。

注1 範頼の母は、池田宿の遊女とされます。範頼は追放されたせいか、一ノ谷や壇ノ浦でも大軍を率いて平家追討に活躍しましたが、目立った書き方はされていません。

これまでのあらすじ

橘町の主人公、公業兄弟 鎌倉で活躍！！

- ・父と共に兄弟が平家討伐に活躍
- ・鎌倉幕府成立後も奥州合戦や大河兼任の乱などで活躍した。しかし……

●登場する人を紹介するね



兄の公忠さん



源頼朝さん

●1190年の大河兼任の乱ぼっ発（前々号）。翌年に幕府は政治を行う場所を公文所から政所と変えます。

- ・1192 実朝誕生
- ・1193 あちこちでまき狩りが行われる
- ・同年5月富士のすそ野のまき狩り
- ※ここで曾我兄弟の仇討ち騒動
- ・同年8月弟の範頼が頼朝へ「忠誠尽くす」起請文を出す、頼朝は源姓を名乗ることに腹をたてる
- ・さらに、範頼の部下がとられる事件
- ・一連の事件を受け、範頼が伊豆へ流される

●公業の兄、橘公忠も範頼に従い伊豆へ

●8月18日公忠が梶原景時親子に敗死



①曾我兄弟の隠れ岩と
②白糸の滝
富士山のすそ野に白糸の滝
という有名な滝があります。
近くに曾我兄弟が隠れたと
言う岩があります

たちばな一族にゆかりの 静岡めぐりマップ

詳しくは、橋町のホームページに訪問記を乗せています。



白糸の滝
① 曾我兄弟の隠れ岩
②

③ 富士山本宮浅間大社

④ 富士川の戦い

⑧ 三島スカイウォーク

⑤ 蛭が島公園

北条氏館 ⑥

修善寺 ⑦

⑨

③ 浅間神社
流鏝馬銅像



④ 富士川の戦い
平家が水鳥の羽音に驚いて逃げたという場所



⑨ 鎌倉
頼朝が幕府を開いた場所。ここに橘一族も。



⑤ 蛭が島公園
頼朝は伊豆に流され、この場所でひっそり成長しました



⑥ 北条義時夫婦の墓
北条寺の一角に夫婦の墓がありました。



⑦ 源範頼（橘公忠の主）の墓
修善寺では立派な墓が祀られ、今も手入れが行き届いていました



⑧ 三島スカイウォーク
日本一長いつり橋からの富士は絶景！